

政策評価について

(最終報告)

平成 31 年 1 月 30 日
総 務 局

1 政策評価の概要（全体像）

- 見える化改革の事業ユニットにおける各施策を対象に、成果目標に対する有効性・効率性等の観点から、外部有識者の助言を踏まえて各局が自己評価し、今後の施策の企画立案に反映させる。

項目	内容
①目的	<ul style="list-style-type: none">○ 成果を重視した効果的・効率的な都政運営を推進○ 都民への説明責任を徹底
②評価対象 (評価単位)	<ul style="list-style-type: none">○ 見える化改革の事業ユニットにおける「施策」を対象
③成果指標 ・目標の設定	<ul style="list-style-type: none">○ 施策ごとに、成果（アウトカム）に着目した、可能な限り定量的な指標と目標値を設定
④評価内容	<ul style="list-style-type: none">○ 成果（アウトカム）指標の実績を基に、施策の進捗状況を把握○ 有効性・効率性等の観点から、施策の現状を分析○ 目標達成に向けた施策の今後の方向性を提示
⑤評価主体	<ul style="list-style-type: none">○ 各局が自ら評価 ※自己評価に際して、都政改革アドバイザー会議 政策評価分科会が意見・助言
⑥情報公開	<ul style="list-style-type: none">○ 評価シートを、都ホームページ上で公表
⑦スケジュール	<ul style="list-style-type: none">○ 各局 1 ユニットを対象に平成31年度から実施○ 政策評価分科会での議論も踏まえ、制度をブラッシュアップし、平成32年度から本格実施

都政改革の3原則を踏まえた、**各局の政策・施策レベルでの自律的なPDCAサイクルを推進**

2 政策評価の内容 – 目的 –

背景

見える化改革を通じて実施してきた、**政策・施策レベルで各局が自ら点検・評価し、局事業の自律的かつ総合的な見直しにつなげていくという取組を制度的に継続**させていく仕組みとして、「政策評価」を導入する。

目的

○成果を重視した効果的・効率的な都政運営を推進

都が何を実施したかではなく、都民にどのような成果があったかという視点で評価することで、施策や事業を不断に見直し、効果的・効率的な都政運営を推進する。

○都民への説明責任を徹底

目指す成果に対する進捗状況や施策内容の自己評価など、評価に関する情報を都民に公表することで、都政運営に関する説明責任を徹底する。

➤都民ファースト

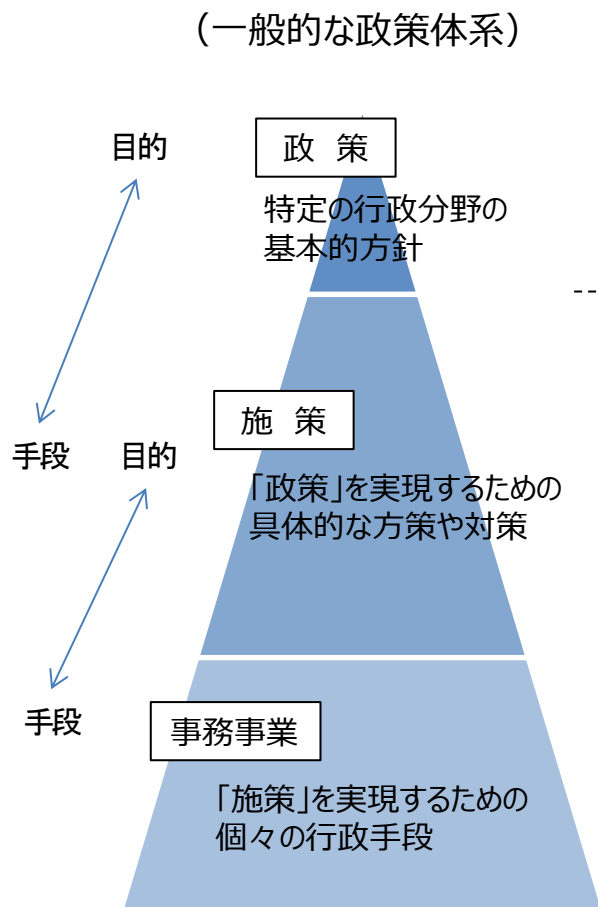
➤情報公開

➤賢い支出（ワイズ・スペンディング）

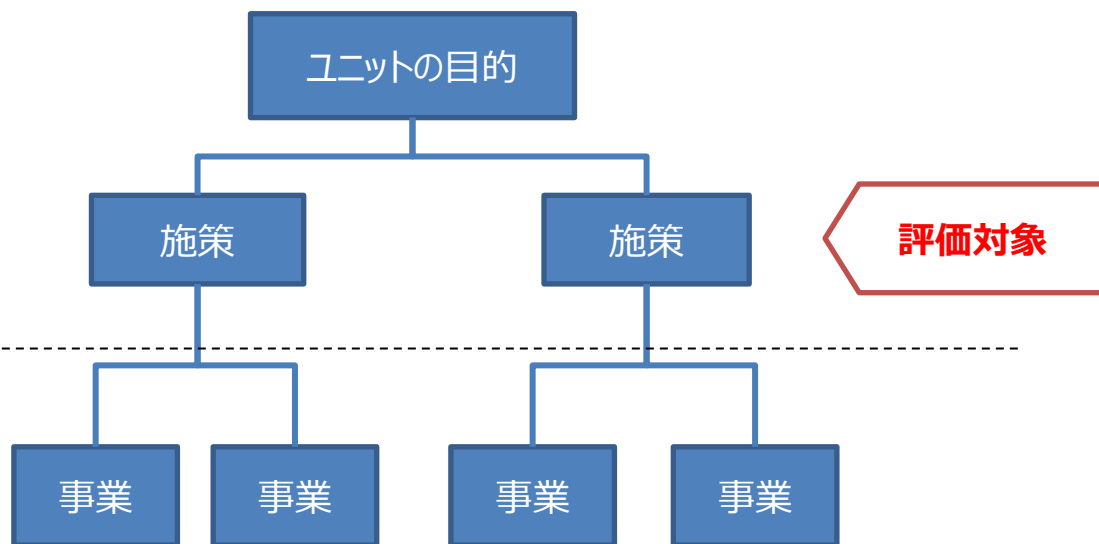
を踏まえた、**各局の政策・施策レベルでの自律的なPDCAサイクルを推進**

2 政策評価の内容 – 評価対象 –

- 見える化改革の事業ユニットについて、ユニットの目的を実現するための具体的な方策や対策である「施策」を評価対象とする。
 - ユニットの目的を起点に、政策体系を整理し、評価対象となる「施策」を設定



政策評価の評価対象

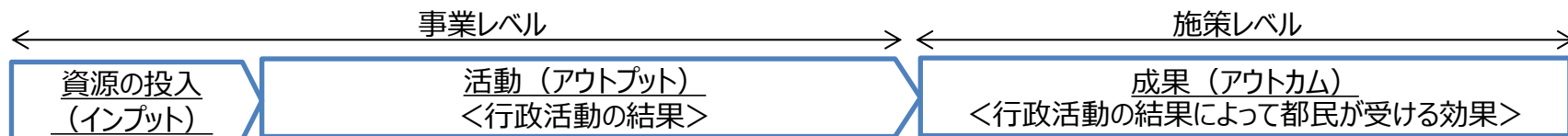


2 政策評価の内容 – 成果指標・目標の設定 –

○ 施策の成果指標・目標の設定に当たっては、都民への成果に着目し、可能な限り定量化したものとす。

- 施策ごとに、成果（アウトカム）を測る指標と目標を設定
- あわせて、施策を構成する各事業について、予算・人員（インプット）、活動量（アウトプット）を整理

（他自治体の例）



施策

資源の投入
(インプット)

活動 (アウトプット)
<行政活動の結果>

成果 (アウトカム)
<行政活動の結果によって都民が受ける効果>

観光施策の推進

- ・人員
- ・予算・決算額

- ・県外向け広報（○回放送）
- ・受入基盤整備（○箇所改修、○箇所新設）
- ・・・・

- ・観光客入込数（○万人）
- ・観光消費額（○億円）
- ・外国人観光客宿泊者数（○万人）
- ・・・・

民間建築物の耐震化の促進

- ・人員
- ・予算・決算額

- ・民間戸建住宅等の耐震診断費補助戸数(○戸)・耐震改修工事費補助戸数(○戸)
- ・耐震診断義務化対象建築物における耐震改修設計費補助棟数(○棟)・工事費補助棟数(○棟)
- ・・・・

- ・民間住宅の耐震化率（○%）
- ・多数の者が利用する民間建築物の耐震化率（○%）

児童生徒の学力向上

- ・人員
- ・予算・決算額

- ・指導の改善・充実に向けた研修会の実施（○回実施）
- ・学び支援コーディネーター等配置（○市町村で配置）
- ・・・・

- ・「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合（○%）
- ・家庭等での学習時間○分以上の児童生徒の割合（○%）
- ・大学等への現役進学達成率の全国平均値との乖離（○pt）
- ・・・・

スポーツの振興

- ・人員
- ・予算・決算額

- ・プロスポーツチームによる講習会開催（○回開催）
- ・スポーツイベントの開催（○回）
- ・障がい者スポーツ指導員養成研修の実施（○回実施）
- ・・・・

- ・スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）（○%）
- ・・・・

施策を構成する各事業について、
インプット・アウトプットを整理

施策単位で
成果（アウトカム）指標・目標を設定

2 政策評価の内容 – 評価内容・評価主体 –

- 成果指標の実績を基に進捗状況を把握し、有効性や効率性等の観点から分析し、今後の方向性を提示することにより、各局が施策を評価する。
- 各局の自己評価に当たっては、外部有識者（都政改革アドバイザー会議 政策評価分科会）が意見・助言する。

施策の自己評価

（①～③のステップにより、施策を評価）

①進捗状況の把握

各成果指標の実績を基に、
施策全体の進捗状況を把握
✓ 目標に向けて順調なのか、
順調でないのか

②施策の分析

施策の進捗状況を踏まえ、有効性・
効率性等の観点から、施策の現状を
分析
✓ 各事業は成果目標の達成に貢献
しているか（事業以外の要因が影
響していないか）
✓ 他の事業と比較して効果が高いか
✓ 民間や監理団体を活用するなど事
業の実施手法を変えることで、成果
を高めたり、コストを削減することが
できないか

など

③今後の方向性の提示

分析を踏まえ、施策を推進
する上での課題と対応方針な
ど、目標達成に向けた施策の
今後の方向性を提示

都政改革アドバイザー会議 政策評価分科会による意見・助言

- ✓ 成果指標は、施策の成果を測る指標として適切か
- ✓ 自己評価の内容は妥当か、原因がきちんと分析されて解決策が示されているか など

2 政策評価の内容 –スケジュール–

- 各局 1 ユニットを対象に平成31年度から実施する。
- 制度上の改善点に関する政策評価分科会での議論も踏まえ、制度をブラッシュアップし、平成32年度から本格実施する。

